

日 絹 月 報

平成 29 年 1 1 月号 第 488 号

発行：一般社団法人日本絹人繊維物工業会
日本絹人繊維物工業組合連合会
Tel 03-3262-4101

URL <http://www.kinujinsen.com>

日絹月報はホームページでも閲覧できます。

本号の主なニュース

1. 「中小企業の経営の改善発達を促進するための中小企業信用保険法等の一部を改正する法律」の施行期日政令及び整備政令が閣議決定
2. 中小企業・小規模事業者・スタートアップ等における中核人材の確保・活用促進に向けた検討ワーキング・グループの開催
3. 第 115 回通商問題委員会の開催
4. 第 7 回日中韓繊維産業協力会議の開催
5. 繊維ファッション SCM 推進協議会 第 18 回経営トップ合同会議開催

◇ 「中小企業の経営の改善発達を促進するための中小企業信用保険法等の一部を改正する法律」の施行期日政令及び整備政令が閣議決定 ◇

平成 29 年 10 月 20 日

経 済 産 業 省

本件の概要

第 193 回通常国会において成立した「中小企業の経営の改善発達を促進するための中小企業信用保険法等の一部を改正する法律」（以下「改正法」という。）について、改正法の施行期日を定める政令及び改正法の施行に伴う関係政令の整備に関する政令が、閣議決定されました。

1. 改正法について

改正法は、信用補完制度を通じて、中小企業の経営改善・生産性向上を促進するため、新たなセーフティネットとして危機関連保証の創設や小規模事業者等への支援拡充を行うとともに、信用保証協会と金融機関の連携による中小企業の経営の改善発達の支援の強化等の所要の措置を講じるものです。

本改正法は、本年の第 193 回通常国会において審議され、6 月に成立しました。

2. 閣議決定された政令の概要

(1) 改正法の施行期日を定める政令

改正法の施行期日を平成30年4月1日に定めます。

(2) 改正法の施行に伴う関係政令の整備に関する政令

関係政令の整備に関する政令は、改正法において政令委任されている危機関連保証に係る保険料率を定める等、中小企業信用保険法施行令その他の関係政令の規定の整備を行うものです。

※改正法及び本政令を含む今般の信用補完制度の見直しの詳細については、本年10月25日より中小企業庁ホームページにおいて公開予定です。

担 当

中小企業庁事業環境部金融課長 小林

担当者： 茂木、石山

電 話：03-3501-1511（内線 5271～5）

03-3501-2876（直通）

03-3501-6861（FAX）

◇ 中小企業・小規模事業者・スタートアップ等における中核人材の確保・活用促進に向けた検討ワーキング・グループの開催 ◇

中 小 企 業 庁

本件の概要

人手不足が人口構造的な課題となっている中、中小企業・小規模事業者・スタートアップ等に必要な人材を発掘・確保し定着させることが重要です。

中小企業庁では、「即戦力となる中核人材」に焦点を当て、①中小企業等が取組むべき方向性、②労働市場の在り方、③具体的な事例創出のためのスキーム等について検討するための研究会と2つのワーキング・グループを立ち上げました。

研究会に先立ち、「中小企業・小規模事業者・スタートアップ等における中核人材の確保・活用促進に向けた検討ワーキング・グループ（中核人材確保WG）」の第1回が10月27日（金曜日）に、第2回が11月13日（月曜日）に開催されました。

背景・趣旨

第四次産業革命等の急激な変化の中、我が国産業は、人口の減少という構造的問題により、恒常的な「人手不足」に直面しています。

特に中小企業・小規模事業者・スタートアップ等では、人材の不足感が著しく、経営の不安要素として年々拡大しています。また、個人が「人生１００年時代」において活躍し続けるための環境が整備されておらず、社会全体として人材の最適配置が行われていない可能性があります。

このような状況の中で、①リカレント教育の充実、②（特に大企業から中小企業等への）転職・再就職の円滑化、それらのベースとなる③必要とされる人材像の明確化や確保・活用、④産業界として果たすべき役割などをパッケージで検討するための研究会（「我が国産業における人材力強化に向けた研究会」と２つのワーキング・グループ、「必要な人材像とキャリア構築支援に向けた検討ワーキング・グループ（人材像WG）」および「中小企業・小規模事業者・スタートアップ等における中核人材の確保・活用促進に向けた検討ワーキング・グループ（中核人材確保WG）」を設置しました。

研究会に先立ち、「中核人材確保WG」を開催しました。本WGでは、①中小企業等が取り組むべき方向性、②労働市場の在り方、③具体的な事例創出のためのスキーム等について検討し、第１回の内容は有識者からのプレゼンテーション、中小企業等における中核人材の具体的なニーズの把握等について、第２回は、有識者プレゼンテーションに加えて、中小企業等における中核人材の具体的なニーズの調査結果発表、中小企業等が取り組むべきステップと必要なサポート等について話し合われました。

担 当

中小企業庁経営支援部経営支援課長 苗村

担当者： 津脇、小林、竹村、帆足

電 話：０３－３５０１－１５１１（内線 ５３３１～５）

０３－３５０１－１７６３（直通）

０３－３５０１－７０９９（FAX）

◇ 第１１５回通商問題委員会の開催 ◇

第１１５回通商問題委員会が１０月３０日（月）に開催され（１）日本の繊維貿易の現状（２）各国とのEPA交渉状況（３）EPA産業協力の現状等について説明があり意見交換が行われた。

1. 日本の繊維貿易の現況について

(1) 輸出入全般の動向

① 2017年1月～8月の現状

- ・円ベースでは、輸出は前年同月比109.3%、輸入は同103.1%。
- ・輸出（円ベース）は、2015年12月がピークであった。2017年に入り、トレンドは似て来ており、1月～8月累計では前年同期比で99.5%。輸入は1月に急増した反動で2月に激減したが、3月に持ち直し、1月～8月累計では前年同期比で100.9%である。

項目	2017年8月				2017年1月～8月			
	金 額		前年同月比		金 額		前年同期比	
	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース	(百万円)	(百万\$)	円ベース	\$ベース
輸出	69,479	632	109.3%	100.7%	568,489	5,078	99.5%	97.1%
輸入	406,054	3,695	103.1%	95.0%	2,631,776	23,493	100.9%	98.4%

② 繊維品別輸出入実績（2017年1月～8月累計・前年同期比）

輸出（円ベース）		輸入（円ベース）	
繊維原料	83.9%	繊維原料	110.1%
糸類（紡績糸・合繊糸）	103.2%	糸類（紡績糸・合繊糸）	98.9%
綿糸	90.4%	綿糸	96.6%
毛糸	87.5%	毛糸	75.5%
合繊糸	101.9%	合繊糸	104.5%
織物	98.2%	織物	101.5%
綿織物	89.8%	綿織物	96.7%
毛織物	90.9%	毛織物	94.9%
合繊織物	100.7%	合繊織物	104.0%
二次製品	104.6%	二次製品	100.8%

(2) 各国・地域別輸出入の動向

① 輸出（2017年1月～8月累計 前年同期比（円ベース））

- ・東南アジア（中国含む）100.7%、米州105.3%、欧州96.5%。
- ・中国は、100.9%。シェアは+0.5ptの30.2%へ。
- ・アセアンは、102.8%、シェアは24.4%（前年同期比+0.7pt）。
- ・前年同期比増は、台湾100.9%、タイ104.8%、ベトナムが105.3%、カンボジア123.8%、ミャンマー102.5%、パキスタン130.1%、フラ

- ・ スイス 102.3%、米州 105.3%、大洋州 100.2%など。
- ・ シェアが安定して伸長、ベトナム 11.4%（前年同期比+0.7pt）
- ・ バングラデシュが前年同期比で96.0%とやや回復。

②輸入（2017年1月～8月累計・前年同期比（円ベース））

- ・ 東南アジア（中国含む）101.0%、米州102.9%、欧州99.8%。
- ・ 中国は、99.5%。シェアは0.9ptダウンの59.5%へ。
- ・ アセアン105.5%。シェアは+1.0ptの24.0%と伸長が続く。
- ・ 前年同期対比増は、台湾106.5%、タイ103.9%、インドネシア102.2%、マレーシア116.3%、ベトナム106.6%、ミャンマー109.1%、西アジア119.5%、ドイツ113.4%、イタリア100.3%、米州102.9%、アフリカ111.9%など。
- ・ ベトナムのシェアは10.9%（前年比+0.8pt）まで伸長継続。
- ・ 伸長の続いたバングラデシュは前年同期比で95.8%に留まる。

2. 次回日程について

第116回通商問題委員会は、11月30日（木）14時30分～16時30分

◇ 第7回日中韓繊維産業協力会議の開催 ◇

11月16日、大阪において、第7回日中韓繊維産業協力会議が開催された。

日本側の繊維産連鎌原会長は冒頭のあいさつで「世界経済は、先進国を中心とする形で自立回復の動きが続くなか、新興国や資源国経済の底入れも進み、景気拡大の動きが続いている。

その中で日本も、「景気は穏やかな回復基調が続いている」とされ、確かに海外経済の回復、円高の一巡、国内需要の持ち直しなどから企業収益は増加している。一方で、IoTやAIの導入とそれを活用した企業行動の変革などを意味する「第四次産業革命」は、世界の潮流となってきた。日本経済の成長率を押し上げるために改革を進めていく重要性が問われている。

日本の繊維産業の事業環境全般に目を向けると、生産面ではリーマンショック前の水準には届いていない状況が続いている。このような環境下で、通商面では広域経済連携の交渉が進み、また、海外から日本への観光客が3千万人に届くインバウンド需要が拡大しており、国内外に積極的に日本製の良さをPRして、消費者の本物志向に応えようとする動きが広がっている。繊維業界は十分な将来性があるとの確信のもと、この機会に世界市場に向けた商流をさらに拡大し、需要創造につなげるチャンスである。自分たち

の立ち位置をしっかりと見定め、新しいステップへ躍進するために、輸出拡大に止まらず、輸入の活用、貿易・投資の促進など、それぞれの課題に積極的に取り組んでいる。我々三カ国における繊維産業は、消費者のニーズが高度化し、マーケットも高度成長する中で、量的にも質的にも世界を引っ張っていく段階にある。

第1に、世界各地で広域連携が加速しているなか、一方で保護主義への動きもあり、我々三カ国は世界の繊維先進国、そして世界最大の繊維産業集積地であることを意識し、FTA/EPAの意義と効果について検証し、積極的に推進していく必要がある。前回の会議において「原則一工程」で合意、日中韓FTAを早期に実現させるとともに、我々三カ国がリードする形で、RCEPに好影響を与え高いレベルの内容に推し進めていくべきである。

第2に、世界の繊維製品市場における環境・安全問題をはじめとするサステナビリティへの関心の高まりを踏まえ、我々三カ国の繊維業界が連携して対処していく必要がある。

第3は、ファッションとテクノロジー。全世界が成長するアジア市場を注目するなか、アジアのファッションを世界に発信する方向として、ファッションアパレルのサプライチェーンで最新のテクノロジーを駆使したビジネスモデルの構築が必要である。

共に、成長、発展ができるよう手を携えて協力し、世界の繊維産業をリードしていく気概を持って、相互のさらなる信頼関係をぜひ強化したい。」と述べた。

会議では「各国の繊維産業の現状」「日中韓FTA」「繊維産業の環境・安全問題」「ファッション&テクノロジー」について、意見交換が行われ以下の点について合意に至った。

合 意 書

第6回日中韓繊維産業協力会議の合意に基づき、第7回日中韓繊維産業協力会議が1月16日に日本・大阪で開催された。日本繊維産業連盟（「JTF」）、中国紡織工業連合会（「CNTAC」）、韓国繊維産業連合会（「KOFOTI」）（以下「日中韓繊維業界」という）は、「各国の繊維産業の現状」、「日中韓FTA」、「繊維産業における環境・安全問題」、「ファッションアンドテクノロジー」について議論を行い、以下の点について合意に至った。

1. 日中韓FTAの原産地規則については、第6回会議において日中韓業界間で合意し、その後品目別詳細について議論を進めた結果、相違がないことが確認された。また、日中韓繊維業界の共通の関心項目である海外投資について報告を行い、貿易・投資に関し情報交換を行っていくことで合意した。

2. 世界の繊維製品市場における環境・安全問題をはじめとするサステナビリティへの関心の高まりを踏まえ、日中韓繊維業界は、情報の共有化、共有情報の活用、そして、環境・安全問題への意識向上を目指し、今後とも相互訪問を含めた緊密な情報交換を行っていくことで合意した。
3. 「ファッション アンド テクノロジー」についても日中韓繊維業界は、それぞれの立場から最新のテクノロジーを活用したファッションビジネス及びファッションアパレルサプライチェーンについての先進的取組などについて報告を行った。今後も、専門家委員会を通じて、このような情報交換を進めて行くことで合意した。
4. 日中韓繊維業界は、緊密な対話と協力のために、第8回日中韓繊維産業協力会議を中国で開催することで合意した。また、その準備のための実務委員会（WG）を韓国で開催する。

◇ 繊維ファッションSCM推進協議会 第18回経営トップ合同会議開催 ◇

「第18回経営トップ合同会議」が11月17日、TOC 有明コンベンションホールで開催された。会議には経営トップ合同会議参加企業62社の経営トップ、経済産業省の土田審議官、矢野企画官、オブザーバーとして企業、業界団体等約110名が参加した。

冒頭に、馬場会長から「この『経営トップ合同会議』は、平成15年に立ち上げ、14年が経過した。参加企業は、「経営トップの責任において、策定された取り決め事項について、実践・実行することの義務と責任を持つ」ということになっている。昨年の会議では、業界全体での「歩引き」廃止に向け、どう取り組むべきか検討し、参加企業の販売先や仕入先を合わせ、約4,600社に『歩引き』取引廃止宣言及び要請のお願いについて」と経済産業省の糟谷前製造産業局長の『歩引き』取引廃止宣言へのご協力依頼について」の通達も併せて送付を致した。このことは、業界全体で「歩引き」廃止に向けた取り組みの第一歩と言えると思う」と挨拶があった。

来賓の経済産業省の土田審議官からは「SCM 推進協議会の取引ガイドラインは自主行動計画においても重要な柱となっている。ガイドライン改訂に向けては、現在の取引慣行にマッチしたものになるよう、引き続き説明会などを通して浸透を図り、着実な実行において業界のスタンダードを形成してほしい」との挨拶があった。

会議では、5月から8月に実施された各社への聴き取り調査報告、「TA プロジェクト」情報化分科会及びユニフォーム分科会、ガイドライン検討分科会の活動報告がされた。引き続き基本契約書の締結の推進、ガイドラインの普及啓発を行うこと、さらに分科会での課題を整理し解決に向けた取り組みを進めることで合意した。

経済産業省矢野企画官は講評の中で、「IT の分野を含めて時代が大きく動いている。情報化のプロトコルについては報告でもあったように、勉強会の中で一端見直しの検討自体をサスペンドとなっている。サプライチェーンが長い繊維産業独自の構造だからこそ IT 化、標準化することによるメリットは必ずあるはず。これをするのですぐに売上げに繋がるわけではないという意見もあったが、情報化が進めば進むほど、昔からエコノミーオブスピードと言われている。産地や川上に行けば行くほど労働集約的な側面が強く IT やスピードを意識しながらやっていく必要があると思う」と話された。

第 18 回経営トップ合同会議」議案書

<http://fispagr.jp/wp/wp-content/uploads/171117.pdf>

第 12 回 TA プロジェクト聴き取り調査報告書

<http://fispagr.jp/wp/wp-content/uploads/12kikitori2.pdf>

「経営トップ合同会議」委員名簿

http://fispagr.jp/keiei_top/ktop_meibo.html

◇ 「資金調達ナビ」最新の支援情報（全国版） ◇

中小機構では、J-Net 21 スタッフが全国の省庁や都道府県庁、支援センターなどの公的機関のサイトに発表されている WEB 情報を収集し、リンク情報として紹介しています。資金制度、募集中の資金情報を資金調達の目的、方法、都道府県別に検索できますので実施されている事業にあわせて情報を入手することが出来ます。

中小機構ホームページ <http://j-net21.smrj.go.jp/snavi/support>
(日絹ホームページからもリンクしていますので御利用下さい)

(公募中案件)

2017/11/16 掲載

第 10 回「ワークライフバランス大賞」募集

(日本生産性本部、ワークライフバランス推進会議)

個人のワークライフバランス実現を支援している企業・組織での優れた成果をあげている事例や、地域・社会に大きな貢献を果たしている事例を表彰します。

・募集期間：－ 2017/12/15

2017/11/08 掲載

「第 3 回女性活躍パワーアップ大賞」募集

(日本生産性本部 ワーキングウーマン・パワーアップ会議)

女性の活躍を組織の生産性向上につなげる動きを加速させるために、独自性ある創意工夫された取り組みを行っている組織を広く表彰します。

・ 募集期間：－ 2017/11/30

2017/11/06 掲載

中小企業技術革新制度（SBIR 制度）（中小企業庁）

中小企業技術革新制度とは、中小企業の方々による研究開発とその成果の事業化を一貫して支援する制度です。この制度では、研究開発のための補助金・委託費等を特定補助金等として指定し、指定された特定補助金等を受けて研究開発を行った中小企業の方々が、その成果を事業化する際に、様々な支援策を活用できる機会を設けています。

2017/10/25 掲載

ふるさとものづくり支援事業（地域総合整備財団）

企業等の地域資源を活用した新商品開発等に対し市町村が支援を行う場合に、財団が当該市町村に対し補助金を交付することで、地域産業の育成・振興に資するよう地域における投資や雇用の創出を促進するものです。

・ 募集期間：2017/10/02 － 2017/11/30

2017/10/03 掲載

「EC・IT活用支援パートナー募集（中小企業基盤整備機構）」

EC・IT活用支援パートナー制度とは、中小企業・小規模事業者のEC、IT活用による販路開拓や生産性の向上を目的に、国内EC、越境EC、ITを活用した生産性向上等における支援の実施にあたりパートナー企業と連携した取り組みを行うための制度です。EC・IT活用支援パートナーとして登録を希望する支援事業者を募集します。

2017/09/27 掲載

グッドスキルマークの表示を希望する製品等の募集

（厚生労働省、中央技能振興センター）

グッドスキルマークとは、技能検定制度での特級技能士、一級技能士または単一等級の技能士が製作した製品などであることを示すためのマークです。消費者に対して、優れた技能によって製作された付加価値の高い製品であることをアピールし、ものづくり日本の再興と熟練技能の継承を図ることを目的としています。グッドスキルマークの表示を希望する製品等の募集を開始しました。

2017/09/20 掲載

「第2回 RESAS アプリコンテスト」募集（内閣府）

地域経済の分析や地域の魅力発掘に役に立つアプリケーションを募集します。

・ 募集期間：2017/10/20 － 2017/12/20

2017/08/30 掲載

第30回「中小企業優秀新技術・新製品賞」（りそな中小企業振興財団、日刊工業新聞社）

中小企業の方々が開発した優れた「新技術・新製品」と「新ソフトウェア」を表彰します。平成28年から平成29年までの2年間に開発を完了、あるいは販売を開始した新技術・新製品が対象です。

・ 募集期間：2017/09/04 － 2017/12/08

2017/08/17 掲載

女性起業家支援コンテスト（経済産業省）

全国の女性起業家支援者による「支援事例コンテスト」を開催します。コンテストを通じて、女性起業家が起業時に抱える様々な課題に対する支援連携事例を、支援機関同士で全国的に共有するとともに、女性の働き方の1つとして起業を広めていきます。

・ 募集期間：－ 2017/11/30

2017/08/14 掲載

割賦支払／賃料支払に係る手続き（中小企業基盤整備機構）

割賦制度の利用を更新しました。金利適用日は8月11日からです。割賦制度を利用すると、初期投資の負担が軽減されます。

2017/07/21 掲載

中小企業会計啓発・普及セミナー開催機関を募集します。（中小企業基盤整備機構）

平成29年度「中小企業大学校 中小企業会計啓発・普及セミナー」の実施にあたり、中小機構と共催する開催機関を募集しています。開催機関は、中小機構及びそれぞれの全国団体と連携しながら、セミナーを実施することとなります。

2017/06/26 掲載

業務改善助成金（厚生労働省）

中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援し、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引上げを図るための制度です。生産性向上のための設備投資（機械設備、POSシステム等の導入）などを行い、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、その設備投資などにかかった費用の一部を助成します。

2017/04/26 掲載

米国初輸出スプリント事業（デザイン・日用品分野）（ジェトロ）

初めての輸出に踏み切る中小企業でも安心して米国への輸出に取り組めるよう、米国と日本のビジネスの橋渡しをする経験豊富な専門家の協力のもと米国市場開拓をサポートします。対象見本市での商談成約を目指し、製品の市場調査から商品戦略、販売戦略に関するアドバイス、提案を一貫して行う一貫支援（募集企業数6社程度、申込締切：一次5月19日（金）、二次10月※予定）、製品のウェブページを作成し、バイヤーへのプロモーションを行うウェブページ制作およびバイヤーへのプロモーション（募集企業数10社程度、申込締切12月15日（金）※予定）、製品の市場調査を行い、レポートを作成する市場調査レポートの作成（募集企業数5社程度、申込締切2018年2月16日（金）※予定）があります。

・募集期間：－ 2018/02/16

2017/04/19 掲載

「Rin crossing」参加メーカー募集（中小企業基盤整備機構）

Rin crossing は、地域資源を活かした商品の販路開拓を支援する中小機構のプロジェクトです。非食品の地域資源商品等を有する中小企業者を対象に、参加メーカーを募集します。

・募集期間：2017/04/17 － 2018/03/15

動 向

- 10月24日 ケケン試験認証センター 理事会
- 10月26日 全国中央会 第69回中小企業団体全国大会
- 10月30日 日本繊維産業連盟 第115回通商問題委員会
- 11月 1日 京都和装産業振興財団「和装(きもの文化)」のユネスコ無形文化遺産登録推進取組会議
- 11月 6日 大日本蚕糸会 シルクサミット in 富士吉田
- 11月13日 経済産業省 第5回和装振興協議会
- 11月16日 第7回日中韓繊維産業協力会議
- 11月16日 大日本蚕糸会 蚕糸功労者表彰式
- 11月17日 繊維ファッションSCM推進協議会 第18回経営トップ合同会議

会議予定

- ☆ 当会 絹織物部会及び化合繊維物部会並びに先染・後染化合繊維物専門委員会等合同会議
11月28日(火) 12時～14時 於：蚕糸会館
- ☆ 日本繊維産業連盟 第116回通商問題委員会
11月30日(木) 14時30分～16時30分 於：繊維会館
- ☆ 当会 正副会長・正副理事長会議
12月 7日(木) 12時～ 於：日絹会館
- ☆ 繊維評価技術協議会 第3回理事会
12月 8日(金) 14時～16時 於：KKRホテル東京
- ☆ 日本繊維産業連盟 平成29年度第2回常任委員会
12月12日(火) 14時～16時30分 於：東海大学校友会館
- ☆ 当会 全日本帯地連盟 委員総会および交流会
12月14日(金) 10時30分～15時 於：ホテルグランドパレス
- ☆ 繊維ファッションSCM推進協議会 平成29年度第2回取引改革委員会
12月14日(木) 15時～17時 於：TFTビル9F

イベント

- ☆ JFW JAPAN CREATION 2018
11月28日(火) 10時～18時30分
29日(水) 10時～18時
会 場：東京国際フォーラム ホールE1
- ☆ Premium Textile Japan 2018 Autumn/Winter
11月28日(火) 10時～18時30分
29日(水) 10時～18時
会 場：東京国際フォーラム ホールE2
- ☆ 丹後織物総合展「Tango Fabric Marche」
11月29日(水)～11月30日(木) 10時～18時
会 場：代官山 ヒルサイドテラス アネックスA棟
- ☆ JAPAN BEST KNIT SELECTION 2017 10th Anniversary
12月6日(水) 10時～18時
7日(木) 10時～17時
会 場：東京国際フォーラム ホールE2

☆ 十日町・塩沢 越後伝統の織物展

12月7日(木) 10時 ~ 17時

8日(金) 9時 ~ 16時

会場：綿商会館5F

☆ 2018長浜きもの早春のつどい

2月11日(日・祝) 15時 ~ 21時

会場：長浜ロイヤルホテル・慶雲館